

## 中学校給食の実現をめざす亀岡市民の会が亀岡市教委と懇談

中学校給食の実現をめざす亀岡市民の会は、11月30日（水）に亀岡市教育委員会と懇談を行いました。懇談は亀岡市が8月に子どもファースト宣言を発表し、中学校給食の早期実現を目指すことを明らかにしたことを受けて行われました。懇談のおもな内容を紹介します。

選択制デリバリー弁当の喫食率は、1学期3.06%でした。中学校給食実現に至った経過は、亀岡市第5次総合計画（令和3年～令和13年）および第2次教育振興計画において中学校給食実施に向け調査、検討、研究するとしたことを受けたものであるとしました。2028年実施は目標であり、確定ではないとしました。

### 現在、具体的な考えはないが、より良い形で実施したい

現在、実施に向けてどのように取り組んでいるのかについて、まだ具体的な計画はないが、より良い形で実施したいと述べました。参加者は、温かい給食、地産地消、災害時に果たす役割など、大規模センター方式ではなく、自校調理方式や小規模調理方式を採用するよう申し入れました。

### 保護者、市民の声を聴くことの大切さは認識している

参加者は、中学校給食については市民の関心が高い、学校関係者だけでなく公募市民も参加する検討委員会を設置し、会議も公開で行うよう要請しました。亀岡市教委は、保護者、市民の声を聴くことの大切さは認識している。公募委員、会議の公開も重要な視点として認識していると述べました。

### デリバリー弁当給食も選択肢から除外しない

参加者から、現在実施しているデリバリー弁当を給食にすることはないか質したところ、亀岡市教委はデリバリー弁当給食も選択肢から除外しない、デリバリー弁当給食も含め様々な方法を検討すると述べました。参加者からは、デリバリー弁当給食ではなく、温かく、おいしい、栄養豊かな中学校給食の実施を求めました。

### 京都府内で一番遅れた亀岡市だからこそ、一番おいしい中学校給食を！

子どもファースト宣言で中学校給食の2028年実現をあげましたが、亀岡市教委はまだ具体的な検討、計画を行っていません。「京都府内で一番遅れた亀岡市だからこそ、一番おいしい中学校給食を！」の声を大きくし、市民の中学校給食を実現させましょう。

